

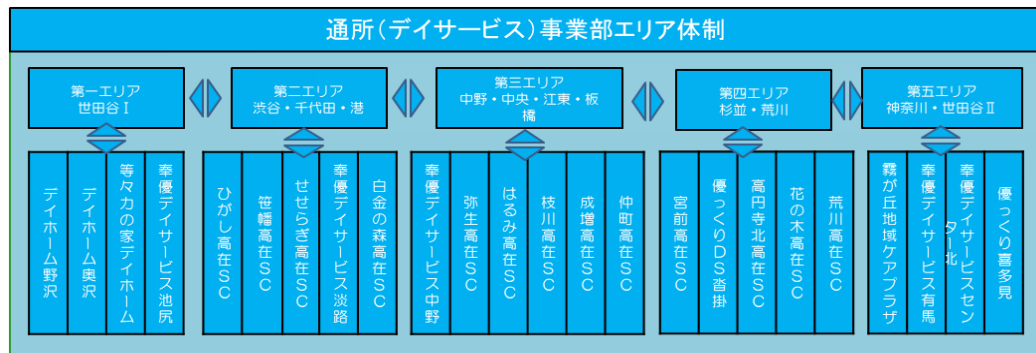
お知らせ

令和4年度社会福祉事業本部新エリア体制

デイサービスと公共サービス事業部の強みの掛け合わせで 誰もが安心して自宅で暮らせる日常を。

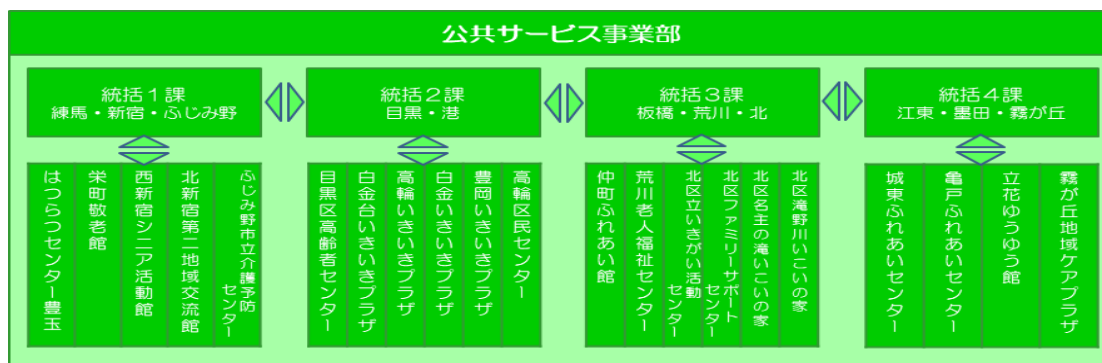
令和4年度の組織体制についてお知らせさせていただきます。

社会福祉事業本部は、通所事業部と公共サービス事業部での連携により地域の元気高齢者から、介護が必要になった高齢者、またその方々を支えるご家族、地域の皆様に必要とされる事業本部を目指してまいります。互いの事業部の強みを活かし、誰もが安心して自宅で暮らせる日常をサポートさせていただきます。



通所事業部は、各地域ごとに5エリア体制で運営させていただきます。各地域でのニーズに即して公益型サービスを地域の方々と進めさせていただきます。

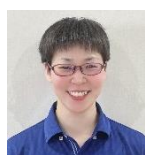
公共サービス事業部は、4エリア体制で、館での健康講座やいつでもどこでもご参加いただけるオンラインでのサロンなどを今後展開していく予定です。



通所・公共サービスMVP表彰

各事業所で活躍している職員にスポットをあて、社会福祉本部推薦でMVP表彰をさせていただきます。各分野で活躍している職員の力が地域活性に繋がっています。

通所事業部 MVP



10月MVP

入職6か月で、介護の基本・業務などを学び介護の楽しさを表現できている。利用者・職員ともに愛されキャラ！

通所第五統括課
奉優デイサービス川崎有馬
介護職 佐藤 友理



11月MVP

せせらぎデイにて業務改革を職員と共に行い、運営の安定とチーム一人一人の橋渡し役として積極的に活動されました。

通所第二統括課
せせらぎデイサービスセンター
相談員 金子 里香



12月MVP

請求・科学的介護など積極的に責任者を支える動きが抜群！事業の成長と自身の成長が見えました。

通所第一統括課
デイホーム野沢(現奥沢デ)
主事・相談員 葭原 華陽

公共サービス MVP



10月MVP

入職3か月で館内ハロウィン飾り付、さらり体操ハロウィンイベントを企画し利用者様と共に盛り上げていただきました。

公共サービス事業統括3課
北区立いきがい活動センター
介護予防運動指導員 鶴賀谷 浩美



11月MVP

日々の健康相談や看護実習生の対応や、職員向けの研修の準備、他施設の勤務など、ご尽力いただきました。

公共サービス事業統括3課
城東ふれあいセンター
看護師 西田 信江



12月MVP

ケアプラザを利用する活動団体様の発表会「はるかぜコンサート」や展示会、ボランティア活動をオンラインを活用する等活躍されました。

公共サービス事業統括2課
霧が丘地域ケアプラザ
主事 酒井 孝子



新年度のご挨拶

社会福祉事業本部
本部長 小宮山 友宏

皆さまには、平素より当法人運営の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和4年4月1日から、社会福祉事業本部長を務めさせていただきます小宮山友宏と申します。微力ではございますが、通所事業並びに公共サービス事業を、より円滑な運営に努め、皆さまのご期待に添えられるよう尽力致します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や少子・高齢社会の進行などで、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、高齢者の孤立や子育てに対する不安、経済的困窮への対応など、地域における生活課題は深刻化し、顕在化してきています。そのような課題に対し、社会福祉事業本部では、各事業を強化し、連動させながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを目指してまいります。



誰もが安心して自宅で暮らせる日常

～地域で支える力×ICT(新しい情報通信技術)活用～

令和4年度からスタートする社会福祉事業本部の事業計画ビジョン概要です。通所事業部の公益型混合介護サービスは、地域との関わりを深め、地域によって支える力により機能強化を図ります。公共サービス事業部では、昨年度促進したICT(新しい情報通信技術)活用事業や、地域貢献事業を拡張します。また、各事業は連動する事で、更なる事業展開が見込め、従来よりも各々の職員の繋がりの機会を増やします。視野を広げアイデアをシェアしながら、各々の得意分野を実践していきます。

【推進する取組】

地域との繋がりを増やす

▶地域貢献事業、公益型混合介護、重層的支援
防災・BCP

ICTを活用し共有する

▶デジタルバйд対策、ハイブリッドコンテンツ
ヘルスケアアプリ、動画コンテンツ

専門性を向上する

▶介護予防事業(事業評価、趣味教養講座)
アセスメント(機能訓練・役割支援)
孤立化対策・多様な価値観共有(喫茶事業)

誰一人取り残さない社会を、 いま、ここから、私たちがつくる。

公共サービス
事業部長 阿波連建世

令和4年度より、公共サービス事業部長を務めさせていただきます阿波連です。この度の人事に関しましては、皆さまからのご支援の賜物と感謝申し上げます。引き続き変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今年度は、中長期経営計画「グローバルプラン2020」がフェーズ2に入ります。公共サービス事業部計画も新たなビジョンを『誰一人取り残さない社会を、いま、ここから、私たちがつくる。』としました。これは、職員一人ひとりが個の違いを認め、尊重し、個性や才能を活か合いながら協働することで、新たなサービスや価値を創造できる組織にしていきたいという思いを込めています。いま、ここから、本物のダイバーシティ&インクルージョンを、本物の地域共生社会を、一緒に作っていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

在宅生活継続支援デイ

休みたくない、毎週通いたいデイを目指して

通所サービス
事業部長 窪田和樹

令和4年度は荒川区花の木デイサービスの指定管理を開始させていただき、通所事業部が運営しているデイサービスは、東京・神奈川で24拠点となりました。新たな拠点を含め地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら今後も必要とされるサービスをお届けしたいと思っています。

デイにおける法人独自サービス「公益型混合介護」展開による在宅生活を支えるボランティアのお手伝いによりご本人の生活支援とご家族の負担軽減、ハイブリッドでリアルな参加とどこにいても繋がれるシステム展開により社会参加と在宅生活が継続できる地域作りを『在宅生活継続支援デイ』として展開していきます。それには、まずはデイを知っていただく活動やキャンセルせずに行きたい、利用したいと思っただけのサービスをスタッフ一同作っていききたいと思います。

通所サービス 新規事業所

荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者 通所サービスセンター4月1日運営開始！



通所事業部 第五地域統括課

花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター 尾堂 亨彦

平素は社会福祉法人奉優会 通所事業部の運営に格別のご高配を賜り、厚く感謝申し上げます。

私、通所事業部第四地域統括課所属の尾堂亨彦と申します。

荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンターは、荒川区立東部在宅高齢者通所サービスセンターに続いて荒川区で2ヶ所目のデイサービスとなります。最寄り駅として、町屋駅・新三河島駅があり、賑わいのある商店街や新興のマンションも多いですが、周辺は下町の面影のある入り組んだ道が続いています。また、近くに明治通りもあり、周辺には住宅街も広がっています。下町の雰囲気が残り、都会の喧騒とは異なった心地よさも特徴となっている地域です。

そのような地域で、私たちは通所事業部で取り組んでいる、日常生活における困り事も支援する当法人独自の『公益型混合介護』・従来のレクにITを掛け合わせていく『ハイブリットサービス』・客観的な根拠に基づいた介護を実践する為の『科学的介護(LIFE)の活用』の3本柱で地域に根付いた『在宅生活継続支援デイ』を目指していきたくと考えています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



公サ事業部 新規事業所

北区滝野川老人いきいの家、名主の滝老人いきいの家、墨田区立花ゆうゆう館の3事業所が運営開始！



こんにちは。令和4年4月に立花ゆうゆう館の館長に着任いたしました石橋友樹と申します。当法人で、初の事業運営となる墨田区で、業務に携われる機会を頂き感謝しております。墨田区で高校生活を過ごした思い出もあり、立花ゆうゆう館のこれまでの歩みを学び、地域の関係者の方々と積極的につながりながら、当法人の事業運営のノウハウを最大限に活かし、立花ゆうゆう館の機能向上を図ります。どうぞ宜しくお願い致します。



墨田区立花ゆうゆう館・館長
石橋友樹 (いしばし ともし)



こんにちは。令和4年4月に名主の滝老人いきいの家施設長に着任いたします奥秋裕子(おくあきひろこ)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。4月より社会福祉法人「奉優会」が指定管理者として新たな体制で管理運営を行うこととなりますが、これまで以上に、区民の皆様が住み慣れた地域でお互いに支え合いながら、健やかに過ごせるよう、職員一丸となって運営してまいります。



名主の滝老人いきいの家・施設長
奥秋 裕子 (おくあき ひろこ)



はじめまして。令和4年4月に滝野川老人いきいの家施設長に着任いたします周防知世(すおうちせ)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

ご利用者の皆さま、地域の皆さまが、気軽に立ち寄っていただける、親しみやすく、楽しく、健やかに過ごせるセンターを目指して、職員一同、一生懸命運営してまいります。



滝野川老人いきいの家・施設長
周防 知世 (すおう ちせ)

通所 DX推進

AI評価システム「トルト」導入開始！

奉優デイサービス川崎有馬
古林 美重

「トルト」(ケアコチ)とは、
スマホやタブレットで5mの歩行動画を「撮る」だけで簡単に歩行分析ができる、理学療法士の知見を基に開発された現場のアセスメント、コミュニケーションを支援するAIサービスです。

通所事業部では全事業所で、トライアルで使用開始しています。
4月からは本格導入し、ご利用者の歩行状態解析結果をご家族やケアマネジャーへお渡しすることで、利用者の意識・行動の変容を促し、今後の通所介護計画書(支援内容)に繋がられます！



毎月の歩行状態を「速度」「リズム」「左右差」の4項目でグラフ化！
ひとり一人の評価ポイントやコメントをAIが教えてくれます。

- ・ご利用者家族へ
 - ・ケアマネ営業に活用
 - ・見学者へのお土産に！
- 結果が見えることで運動することに前向きになれる。改善意欲がでる。

「すごい！」
「楽ですね」



通所システム委員会で新情報をGET！常にアップデートを！



介護ロボ「ハグ」を体験
井澤課長(荒川)

3月10日、介護用品・サービスフェアに行ってきました。
『介護用品・ソリューション』『介護テクノロジー(ロボ・VR・AI)』『高齢社会まちづくり展』『ケアフード』など、私たちのお仕事で役立つ情報が満載でした。今回はDXでの視点でフェアに参加。数多くの企業が出展しており、今後の通所DXのヒントを得ることができました。介護フェアは年間数回開催しています。どなたでも参加できますので、是非、「今後の介護業界の動向を知る」良い機会になりますのでご参加ください！AIでの評価や、新たな介護用品が次々と誕生しており、時代の流れの速さを感じる事が出来ました。常にアップデート必要ですね！



公サ DX推進

自治体の枠を超えた、高齢者同士の交流会！ eスポーツ交流伝統の一戦「あらなかクラシコ」初開催

公共サービス事業部 荒川区立荒川老人福祉センター 事業所責任者 菅野 恵
板橋区立仲町ふれあい館 事業所責任者 井上 麻美



1月28日(金)

荒川区立荒川老人福祉センターと板橋区立仲町ふれあい館をZOOMでつなぎ、eスポーツの交流事業「あらなかクラシコ」を開催しました！！内容は、電子ボーリングゲームです。この日のために、荒川・板橋のご利用者の方々は練習に励んでいました。

開会式では、お互いの施設紹介、選手の自己紹介を行いました。準備運動のあとは、いよいよ本番スタートです！！

参加者の緊張感が伝わってくる中、試合は進んでいきます。ストライクが出たら、「ナイスプレイ！」、ガーターでも、「ドンマイ！！」と、相手が投げている様子を画面で見ながら声援を送り合います。画面越しにハイタッチをする姿も、応援者も集まり、会場は大変な盛り上がりでした。

無事すべての試合が終了し、結果発表の時間です。総合優勝は、仲町ふれあい館となりました。お互いの活躍を称えあい、笑顔で集合写真を撮りました。最後は、手を振って「またね～～！！」で終了。

画面越しの交流会でしたが、eスポーツを活用することで、お互いが楽しみ、それぞれの姿や様子を確認しあいながら、とても素晴らしい時間を共に過ごすことができました。私たち職員も、eスポーツの持つ大きな可能性を感じることができ、さらなる発展を目指していこうと心に誓いました。

当日は、NHKの取材を受けました！！

「あらなかクラシコ」の様子はNHKの取材を受け、「首都圏ネットワーク」で放送されました。荒川会場では大きなカメラやマイクが入り、いつもと違う雰囲気にかなり緊張しました。ゲームが始まると負けられない一戦に集中！仲町・荒川両者がeスポーツやオンライン交流を楽しまれている様子を首都圏に発信できました。放送後「見たわよ」とお声をかけていただき、NHKの影響力の大きさを改めて実感しました。

クラシコとは・・・？

スペイン語で、「伝統の一戦」という意味です。
地域を超えたeスポーツ交流事業を、公サ事業部として初めて開催することができました！！

